

第4章 演習問題1(解答)



第 4 章 演習問題 1 P 256 ~ P 261

会計システム・基幹システム 第11期 期首実績残高  
 の実績BS等残高が下記の数値だった場合

会計システム	実績期首残高	現金預金	借方	AA(1)	586,500	千円
		売掛金	借方	AB(1)	99,000	千円
		未払消費税等	貸方	AD(1)	48,000	千円
		資本金	貸方	AF(1)	100,000	千円
		繰越利益剰余金	貸方	AG(1)	537,500	千円
資金管理システム	実績期首残高	繰越資金	借方	DA(1)	586,500	千円
人事管理システム	実績期首残高	人員数	借方	ED(1)	10	人

下記の予算会計システムの空欄に記入して下さい。解答は書籍をご確認下さい。

予算会計システム 第11期 実績区分 (期首残高)

入力画面 期首残高登録 第 4 章 P 257

種類	科目	貸借	回答NO	実績残高	数量単位
BS数値	現金預金	借方	1	586,500	千円
BS数値	売掛金	借方	2	99,000	千円
BS数値	未払消費税等	貸方	3	48,000	千円
BS数値	資本金	貸方	4	100,000	千円
BS数値	繰越利益剰余金	貸方	5	537,500	千円
BS型資金数値	繰越資金	借方	6	586,500	千円
BS型非会計数値	人員数	借方	7	10	人

BS 実績元帳 (4月) 第 4 章 P 258

予算会計システム 第11期 実績区分 (期首残高)

科目 BS\_現金預金 借方 ... AA

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	単位	残高
4/1	実績	前期繰越			8	586,500

BS 実績元帳 (4月) 第 4 章 P 258

予算会計システム 第11期 実績区分 (期首残高)

科目 BS\_売掛金 借方 ... AB

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	単位	残高
4/1	実績	前期繰越			9	99,000

BS 実績元帳 (4月) 第 4 章 P 259

予算会計システム 第11期 実績区分 (期首残高)

科目 BS\_未払消費税等 貸方 ... AD

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	単位	残高
4/1	実績	前期繰越			10	48,000

第4章 演習問題1(解答)

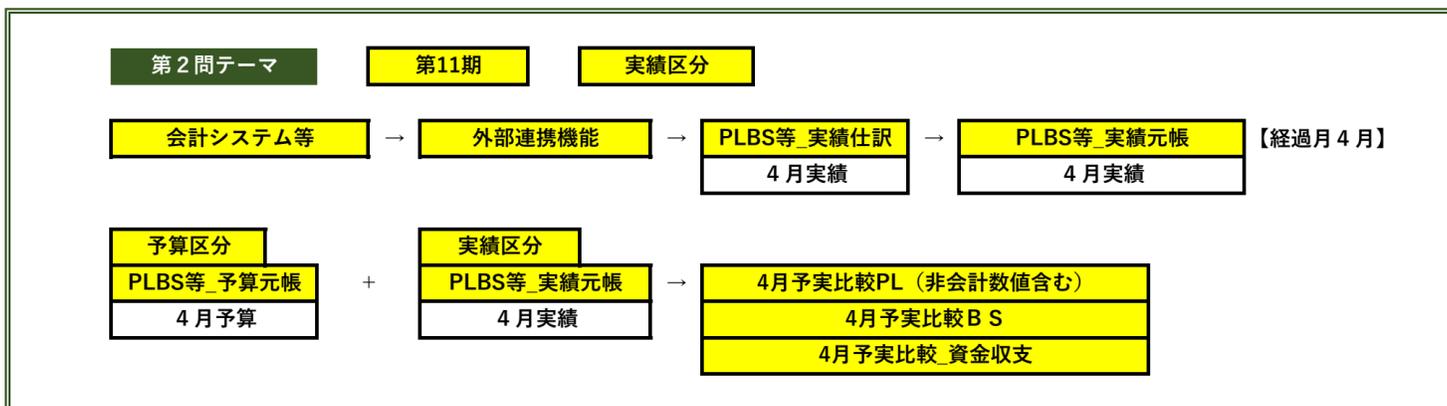
BS		実績元帳 (4月)		第 4 章 P	259
予算会計システム		第11期	実績区分 (期首残高)		
科目	BS_資本金		貸方	...	AF
					単位 千円
日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越			11 100,000

BS		実績元帳 (4月)		第 4 章 P	259
予算会計システム		第11期	実績区分 (期首残高)		
科目	BS_繰越利益剰余金		貸方	...	AG
					単位 千円
日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越			12 537,500

資金		実績元帳 (4月)		第 4 章 P	260
予算会計システム		第11期	実績区分 (期首残高)		
科目	資金_繰越資金		借方	...	DA
					単位 千円
日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越			13 586,500

KPI (非会計)		実績元帳 (4月)		第 4 章 P	260
予算会計システム		第11期	実績区分 (期首残高)		
科目	KPI_人員数		借方	...	ED
					単位 人
日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越			14 10

第4章 演習問題2(解答)



第 4 章 演習問題 2 - 1 P 262 ~ P 289

会計システム 第11期 月次実績仕訳一覧 4月  
のエクセル出力が下記内容だった場合

システム	A列 日付	伝票NO	E列 借方科目NO	H列 借方金額	L列 貸方科目NO	O列 貸方金額	摘要
			NOは省略		千円 NOは省略		
会計システム	4/30	1	売掛金	49,280	売上高	44,800	4月分売上高計上
						仮受消費税等	4,480
会計システム	4/30	2	現金預金	44,000	売掛金	44,000	前年度2月分売掛金回収

下記の予算会計システムの実績区分の実績仕訳の空欄に記入して下さい。解答は書籍をご確認下さい。

予算会計システム 第11期 実績区分(4月)  
入力画面 外部連携機能

第 4 章 P 263

貸借	項目_予算会計システム	取込元列_会計システム	変換マスタ
	日付	A列	
借方	科目NO	E列	仮払消費税等→未払消費税等
借方	数値	H列	
貸方	科目NO	L列	仮受消費税等→未払消費税等
貸方	数値	O列	

書籍対応頁 第 4 章 P 265

BSPL_実績仕訳		4月売上高44,800千円の4/30計上			
日付	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額	単位 千円
4/30	1 BS_売掛金	2 49,280	3 PL_売上高	4 44,800	
			5 BS_未払消費税等	6 4,480	
	借方合計	7 49,280	貸方合計	8 49,280	

注：仮受消費税等は仮払消費税等と自動相殺させるために、「未払消費税等」科目を用いる。  
消費税率10%とする。以下同じ。

書籍対応頁 第 4 章 P 265

BS_実績仕訳		前年度の2月売掛金の4/30回収 44,000千円(決済条件:2カ月後振込入金)			
日付	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額	単位 千円
4/30	9 BS_現金預金	10 44,000	11 BS_売掛金	12 44,000	
	借方合計	13 44,000	貸方合計	14 44,000	

第4章 演習問題2(解答)

書籍対応頁 第 4 章 P 266

PL 実績元帳 (4月)

予算会計システム 第11期 実績区分 (4月)

科目 PL\_売上高 貸方 ... BA

単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越			
4/30	実績	BS_売掛金		15 44,800	16 44,800

書籍対応頁 第 4 章 P 267

書籍対応頁 第 3 章 P 189 参照

PL 予算元帳 第3章演習問題3より

予算会計システム 第11期 予算区分(4月)

科目 PL\_売上高 貸方 ... BA

単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	予算	前期繰越			
4/30	予算	BS_売掛金		17 49,500	18 49,500

書籍対応頁 第 4 章 P 268~270

4月予実比較PL (非会計数値含む)

科目	予算 4月	実績 4月	差異 4月	原因	対応策
売上高 (千円)	19 49,500	20 44,800	21 △ 4,700		

<分析情報>

販売数量 (個)	55	56	1	5月検収予定分の前倒し検収...①	
平均販売単価 (千円)	900	800	△ 100	実勢価格の低下...②	予算作成時の販売単価を保守的に設定する

差異原因の①は予算原因か実績原因か? 22 実績原因

差異原因の②は予算原因か実績原因か? 23 予算原因

予実差異原因の価格差異はいくらか? 24 △ 5,500 千円 (実績単価800千円-予算単価900千円) × 予算数量55個

予実差異原因の数量差異はいくらか? 25 800 千円 (実績個数56個-予算個数55個) × 実績単価800千円

4月末着地予想PL作成における影響

未経過月の5月の影響: ①の影響 26 900 千円 だけ、5月の売上高が 27 減少 する。  
5月予算個数50個・予算単価@900千円 (実績予想個数49個-予算個数50個) × 予算単価@900千円

未経過月の5月の影響: ②の影響 28 4,900 千円 だけ、5月の売上高が 29 減少 する。  
5月予算個数50個・予算単価@900千円 (実績単価800千円-予算単価900千円) × 実績予想数量49個

未経過月の6月以降の影響: ②の影響 6月以降の月次見込数量 × 30 100 千円 だけ、各月の売上高が 31 減少 する。

第4章 演習問題2(解答)

書籍対応頁 第 4 章 P 261

期首時点のBS等の前期繰越の予実管理上の繰越差異  
 予算会計システム\_当期\_第11期\_予算区分・実績区分

区分	科目		①予算期首残高	②実績期首残高	②-①=③
			予算元帳より	実績元帳より	繰越差異
			千円	千円	千円
BS	現金預金	借方	585,550	586,500	950
BS	売掛金	借方	103,950	99,000	△ 4,950
BS	未払消費税等	貸方	49,500	48,000	△ 1,500
BS	資本金	貸方	100,000	100,000	0
BS	繰越利益剰余金	貸方	540,000	537,500	△ 2,500
BS型資金	繰越資金	借方	585,550	586,500	950
BS型KPI	人員数(人)	借方	11	10	△ 1

書籍対応頁 P 271

BS

実績元帳(4月)

予算会計システム

第11期

実績区分(4月)

科目

BS\_現金預金

借方

AA

単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越			32 586,500 ← 第1問より
4/30	実績	BS_売掛金	33 44,000		34 630,500

書籍対応頁 第 4 章 P 272

書籍対応頁 第 3 章 P 182 参照

BS

予算元帳(4月)

第3章演習問題3より

予算会計システム

第11期

予算区分(4月)

科目

BS\_現金預金

借方

AA

単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	予算	前期繰越			35 585,550
4/30	予算	BS_売掛金	36 49,500		37 635,050

書籍対応頁 P 273

4月予実比較BS

科目	予算		実績		差異		原因	対応策
	4月	4月	4月	4月	4月	4月		
現金預金(千円)	38 635,050	39 630,500	40 630,500	41 635,050	42 △ 4,550			

<分析情報>

繰越差異(千円)	41 585,550	42 586,500	43 950	繰越差異	着地予想BSの精度向上
4月売掛金回収額 予実差異	44 49,500	45 44,000	46 △ 5,500	4月売掛金回収額 予実差異	着地予想BSの精度向上
合計	47 635,050	48 630,500	49 △ 4,550		

4月末着地予想BSへの影響は、着地予想PLの見込修正により、自動修正されるので省略する。

第4章 演習問題2(解答)

書籍対応頁 P 275

BS 実績元帳(4月)  
 予算会計システム 第11期 実績区分(4月)  
 科目 BS\_売掛金 借方 ... AB

単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越			50 99,000 ←第1問より
4/30	実績	BS_現金預金		51 44,000	52 55,000
4/30	実績	諸口(売上高等)	53 49,280		54 104,280

書籍対応頁 第4章 P 276 書籍対応頁 第3章 P 183 参照

BS 予算元帳(4月) 第3章演習問題3より  
 予算会計システム 第11期 予算区分(4月)

科目 BS\_売掛金 借方 ... AB

単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	予算	前期繰越			55 103,950
4/30	予算	諸口(売上高等)	56 54,450		57 158,400
4/30	予算	BS_現金預金		58 49,500	59 108,900

書籍対応頁 P 277・278

4月予実比較BS

科目	予算		実績		差異	原因	対応策
	4月		4月				
売掛金(千円)	60 108,900	61	104,280	62	△ 4,620		

<分析情報>

繰越差異(千円)	63 103,950	64	99,000	65	△ 4,950	繰越差異	着地予想BSの精度向上
4月売掛金回収額	66 △ 49,500	67	△ 44,000	68	5,500	4月売掛金回収額	着地予想BSの精度向上
4月売掛金発生額	69 54,450	70	49,280	71	△ 5,170	4月売掛金発生額	月次予算PLの精度向上
予実差異						差異予実差異	
合計	72 108,900	73	104,280	74	△ 4,620		

4月末着地予想BSへの影響は、着地予想PLの見込修正により、自動修正されるので省略する。

第4章 演習問題2(解答)

書籍対応頁 P 279

BS	実績元帳(4月)
予算会計システム	第11期 実績区分(4月)
科目	BS_未払消費税等 貸方 ... AD
	単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越		75	48,000 ← 第1問より
4/30	実績	BS_売掛金		76 4,480	77 52,480

書籍対応頁 第4章 P 280 書籍対応頁 第3章 P 184 参照

BS	予算元帳(4月) 第3章演習問題3より
予算会計システム	第11期 予算区分(4月)
科目	BS_未払消費税等 貸方 ... AD
	単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	予算	前期繰越		78	49,500
4/30	予算	BS_売掛金		79 4,950	80 54,450

書籍対応頁 P 281

4月予実比較BS

科目	予算	実績	差異	原因	対応策
	4月	4月	4月		
未払消費税等(千円)	81 54,450	82 52,480	83 △1,970		

<分析情報>

繰越差異(千円)					繰越差異	着地予想BSの精度向上	
4月売上高_価格差異_消費税等_予実差異	84 49,500	85 48,000	86 △1,500	87 4,950	88 4,400	89 △550	4月売上高_価格差異_消費税等_予実差異 月次予算PLの精度向上
4月売上高_数量差異_消費税等_予実差異	90 4,400	91 4,480	92 80	93 58,850	94 56,880	95 △1,970	4月売上高_数量差異_消費税等_予実差異 月次予算PLの精度向上
合計							

4月末着地予想BSへの影響は、着地予想PLの見込修正により、自動修正されるので省略する。

第4章 演習問題2(解答)

書籍対応頁 P 283

BS		実績元帳 (4月)			
予算会計システム		第11期	実績区分 (4月)		
科目	BS_資本金	貸方	...	AF	単位 千円
日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越		96	100,000 ←第1問より

書籍対応頁 第4章 P 283      書籍対応頁 第3章 P 185 参照

BS		予算元帳 (4月)      第3章演習問題3より			
予算会計システム		第11期	予算区分(4月)		
科目	BS_資本金	貸方	...	AF	単位 千円
日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越		97	100,000

書籍対応頁 P 284

4月予実比較BS							
科目	予算		実績		差異	原因	対応策
	4月	4月	4月	4月			
資本金 (千円)	98	100,000	99	100,000	100	0	記載不要

書籍対応頁 第4章 P 285

BSPL_実績仕訳		4月売上高→月次純利益を繰越利益剰余金へ振替				単位	千円
日付	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額			
101 4/30	102 PL_売上高	103 44,800	104 PL_月次純利益	105 44,800			
	106 PL_月次純利益	107 44,800	108 BS_繰越利益剰余金	109 44,800			
	借方合計	110 89,600	貸方合計	111 89,600			

書籍対応頁 第4章 P 285

BS		実績元帳 (4月)			
予算会計システム		第11期	実績区分 (4月)		
科目	BS_繰越利益剰余金	貸方	...	AG	単位 千円
日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越		112	537,500 ←第1問より
4/30	実績	PL_月次純利益	113 44,800	114	582,300

書籍対応頁 第4章 P 286      書籍対応頁 第3章 P 187 参照

BS		予算元帳 (4月)      第3章演習問題3より			
予算会計システム		第11期	予算区分(4月)		
科目	BS_繰越利益剰余金	貸方	...	AG	単位 千円
日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	予算	前期繰越		115	540,000
4/30	予算	PL_月次純利益	116 49,500	117	589,500

第4章 演習問題2(解答)

書籍対応頁 P 287

4月予実比較BS

科目	予算		実績		差異		原因	対応策
	4月		4月		4月			
繰越利益剰余金(千円)	118	589,500	119	582,300	120	△7,200		

<分析情報>

繰越差異(千円)	121	540,000	122	537,500	123	△2,500	繰越差異	着地予想BSの精度向上
4月売上高_予実差異	124	49,500	125	44,800	126	△4,700	4月売上高_予実差異	月次予算PLの精度向上
合計	127	589,500	128	582,300	129	△7,200		

4月末着地予想BSへの影響は、着地予想PLの見込修正により、自動修正されるので省略する。

第4章 演習問題 2 - 2 P 290 ~ P 296

資金管理システム 第11期 月次実績\_資金仕訳一覧 4月  
のエクセル出力が下記内容だった場合

	A列		E列	H列	L列	O列	
システム	日付	伝票NO	借方科目NO	借方金額	貸方科目NO	貸方金額	摘要
			NOは省略	千円	NOは省略	千円	
資金管理システム	4/30	1	繰越資金	44,000	売上収入	44,000	前年度2月分売掛金回収

下記の予算会計システムの空欄に記入して下さい。解答は書籍をご確認下さい。

予算会計システム 第11期 実績区分(4月)  
入力画面 外部連携機能

第4章 P 263

貸借	項目_予算会計システム	取込元列_資金管理システム	変換マスタ
	日付	A列	
借方	科目NO	E列	
借方	数値	H列	
貸方	科目NO	L列	
貸方	数値	O列	

書籍対応頁 第4章 P 290

資金_実績仕訳		4/30売上収入44,000千円の計上				
日付	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額	単位	千円
4/30	130 資金_繰越資金	131 44,000	132 資金_売上収入	133 44,000		
	借方合計	134 44,000	貸方合計	135 44,000		

書籍対応頁 P 291

資金 実績元帳(4月)  
予算会計システム 第11期 実績区分(4月)

科目	資金_繰越資金		借方	...	DA	単位	千円
日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高		
4/1	実績	前期繰越			136		586,500
4/30	実績	資金_売上収入	137 44,000		138		630,500

←第1問より

### 第4章 演習問題2(解答)

書籍対応頁 第 4 章 P 292 書籍対応頁 第 3 章 P 196 参照

資金 予算元帳 (4月) 第3章演習問題3より

予算会計システム 第11期 予算区分(4月)

科目 資金\_繰越資金 借方 ... DA

単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	予算	前期繰越			139 585,550
4/30	予算	資金_売上収入	140 49,500		141 635,050

書籍対応頁 P 294

#### 4月予実比較\_資金収支

科目	予算	実績	差異	原因	対応策
	4月	4月	4月		
月末資金残高 (千円)	142 635,050	143 630,500	144 △ 4,550		

#### <分析情報>

繰越差異 (千円)	145	585,550	146	586,500	147	950	繰越差異	着地予想_月次資金計画の精度向上
4月売上収入の予実差異	148	49,500	149	44,000	150	△ 5,500	4月売上収入の予実差異	着地予想_月次資金計画の精度向上
合計	151	635,050	152	630,500	153	△ 4,550		

4月末着地予想\_月次資金計画への影響は、着地予想PLの見込修正により、自動修正されるので省略する。

書籍対応頁 P 291

資金 実績元帳 (4月) 第11期 実績区分(4月)

科目 資金\_売上収入 貸方 ... DB

単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越			
4/30	実績	資金_繰越資金		154 44,000	155 44,000

書籍対応頁 第 4 章 P 292 書籍対応頁 第 3 章 P 197 参照

資金 予算元帳 (4月) 第3章演習問題3より

予算会計システム 第11期 予算区分(4月)

科目 資金\_売上収入 貸方 ... DB

単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	予算	前期繰越			
4/30	予算	資金_繰越資金		156 49,500	157 49,500

書籍対応頁 P 294

#### 4月予実比較\_資金収支

科目	予算	実績	差異	原因	対応策
	4月	4月	4月		
売上収入 (千円)	158 49,500	159 44,000	160 △ 5,500		

#### <分析情報>

2月発生売掛金の繰越差異 (千円)	161	49,500	162	44,000	163	△ 5,500	2月発生売掛金の繰越差異 (千円)	着地予想_月次資金計画の精度向上
-------------------	-----	--------	-----	--------	-----	---------	-------------------	------------------

書籍の第2章の第10期の月次着地予想BSは12月末現在の月次着地予想とし、その着地予想値(2月発生売掛金+3月発生売掛金)が第11期の売掛金の前期繰越として繰り越されている。前期の売掛金の回収条件は2カ月後入金となっている。

4月末着地予想\_月次資金計画への影響は、着地予想PLの見込修正により、自動修正されるので省略する。

第4章 演習問題2(解答)

第 4 章 演習問題 2 - 3 P 297 ~ P 300

人事管理システム 第11期 月次実績\_人員増減一覧 4月  
 のエクセル出力が下記内容だった場合

	A列	E列	H列	L列	O列	
システム	日付	借方科目NO	借方数量	貸方科目NO	貸方数量	摘要
		NOは省略		人 NOは省略		人
人事管理システム	4/30	採用	3			4月人員増加_採用

下記の予算会計システムの空欄に記入して下さい。解答は書籍をご確認下さい。

予算会計システム 第11期 実績区分(4月)

入力画面 外部連携機能

第 4 章 P 263

貸借	項目_予算会計システム	取込元列_人事管理システム	変換マスタ
	日付	A列	
借方	科目NO	E列	人員数(相手勘定:人員数の増加理由_採用)
借方	数値	H列	
貸方	科目NO	L列	人員数(相手勘定:人員数の減少理由_退職)
貸方	数値	O列	

書籍対応頁 第 4 章 P 297

KPI_実績仕訳		4/30_人員数の増加理由_採用3人の非会計数値の実績仕訳計上			
				単位	人
日付	借方科目	借方数量	貸方科目	貸方数量	
4/30	164 KPI_人員数	165 3	166 KPI_人員数の増加理由_採用	167	3
	借方合計	168 3	貸方合計	169	3

書籍対応頁 P 298

KPI(非会計) 実績元帳(4月)

予算会計システム 第11期 実績区分(4月)

科目		KPI_人員数		借方	...	ED	単位	人
日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高			
4/1	実績	前期繰越			170	10	←第1問より	
4/30	実績	KPI_人員数の増加理由_採用	171 3		172	13		

書籍対応頁 第 4 章 P 299

書籍対応頁 第 3 章 P 194 参照

KPI(非会計) 予算元帳(4月) 第3章演習問題3より

予算会計システム 第11期 予算区分(4月)

科目		KPI_人員数		借方	...	ED	単位	人
日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高			
4/1	予算	前期繰越			173	11		
4/30	予算	KPI_人員数の増加理由_採用	174 2		175	13		

書籍対応頁 P 300

4月予実比較PL(非会計数値含む)						
科目	予算	実績	差異	原因	対応策	
	4月	4月	4月			
人員数(人)	176	13 177	13 178	0	記載不要	記載不要

第4章 演習問題2(解答)

第 4 章 演習問題 2 - 4 P 300 ~ P 302

販売管理システム 第11期 月次実績\_販売数量一覧 4月  
 のエクセル出力が下記内容だった場合

システム	A列 日付	E列 借方科目NO	H列 借方数量	L列 貸方科目NO	O列 貸方数量	摘要
		NOは省略 個		NOは省略 個		
販売管理システム	4/30	販売数量	56			4月販売数量

下記の予算会計システムの空欄に記入して下さい。 解答は書籍をご確認下さい。

予算会計システム 第11期 実績区分(4月)  
 入力画面 外部連携機能

第 4 章 P 263

貸借	項目_予算会計システム	取込元列_販売システム	変換マスタ
	日付	A列	
借方	科目NO	E列	販売数量(相手勘定:販売数量の増加理由_売上)
借方	数値	H列	
貸方	科目NO	L列	販売数量(相手勘定:販売数量の減少理由_キャンセル)
貸方	数値	O列	

書籍対応頁 第 4 章 P 300

KPI_実績仕訳		4月_販売数量の増加理由_売上の非会計数値の実績仕訳計上				
					単位	個
日付	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額		
4/30	179 KPI_販売数量	180 56	181 KPI_販売数量の増加理由_売上	182 56		
	借方合計	183 56	貸方合計	184 56		

書籍対応頁 P 301

KPI(非会計) 実績元帳(4月)  
 予算会計システム 第11期 実績区分(4月)

科目 KPI\_販売数量 借方 ... EA 単位 個

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越			
4/30	実績	KPI_販売数量の増加理由_売上	185 56		186 56

書籍対応頁 第 4 章 P 301

書籍対応頁 第 3 章 P 190 参照

KPI(非会計) 予算元帳(4月) 第3章演習問題3より

予算会計システム 第11期 予算区分(4月)

科目 KPI\_販売数量 借方 ... EA 単位 個

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	予算	前期繰越			
4/30	予算	KPI_販売数量の増加理由_売上	187 55		188 55

注:販売数量の増加理由\_売上勘定の実績元帳及び予算元帳は省略している。

第4章 演習問題2(解答)

書籍対応頁 P **302**

4月予実比較PL (非会計数値含む)						
科目	予算		実績		差異	原因
	4月		4月		4月	
販売数量 (個)	189	55	190	56	191	1
						5月検収予定分の前倒し検収

第 **4** 章 **演習問題** **2** - **5** P **303** ~ P **311**

販売管理システム **第11期** **月次実績\_CO2排出・削減数量一覧** **4月**  
 のエクセル出力が下記内容だった場合

システム	A列 日付	E列 借方科目NO	H列 借方数量	L列 貸方科目NO	O列 貸方数量	摘要
		NOは省略	t	NOは省略	t	
CO2管理システム	4/30	削減前CO2排出量	14.0			4月削減前CO2排出量
CO2管理システム	4/30	削減後CO2排出量	11.4			4月削減後CO2排出量
CO2管理システム	4/30	CO2削減量	2.6			4月CO2削減量

下記の予算会計システムの空欄に記入して下さい。解答は書籍をご確認下さい。

予算会計システム **第11期** **実績区分 (4月)**  
 入力画面 **外部連携機能**

第 **4** 章 P **263**

貸借	項目_予算会計システム	取込元列_CO2管理システム	変換マスタ
	日付	A列	
借方	科目NO	E列	・削減前CO2排出量 (相手勘定：削減前CO2排出量の増加理由_発生) ・削減後CO2排出量 (相手勘定：削減後CO2排出量の増加理由_発生) ・CO2削減量 (相手勘定：CO2削減量の増加理由_太陽光発電)
借方	数値	H列	
貸方	科目NO	L列	省略
貸方	数値	O列	

書籍対応頁 第 **4** 章 P **303**

KPI_実績仕訳					4月_削減前CO2排出量14.0tの非会計数値の実績を仕訳計上				
					単位	<b>t</b>			
日付	借方科目	借方数量	貸方科目	貸方数量					
4/30	192 KPI_削減前CO2排出量	193 14.0	194 KPI_削減前CO2排出量の増加理由：発生	195 14.0					
	借方合計	196 14.0	貸方合計	197 14.0					

書籍対応頁 P **304**

**KPI (非会計)** **実績元帳 (4月)**

予算会計システム **第11期** **実績区分 (4月)**

科目 **KPI\_削減前CO2排出量** **借方** ... **EH**

単位 **t**

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越			
4/30	実績	KPI_削減前CO2排出量の増加理由：発生	198 14.0		199 14.0

第4章 演習問題2(解答)

書籍対応頁 第 4 章 P 306 書籍対応頁 第 3 章 P 191 参照

KPI (非会計) 予算元帳 (4月) 第3章演習問題3より

予算会計システム 第11期 予算区分(4月)

科目 KPI\_削減前CO2排出量 借方 ... EH

単位 t

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	予算	前期繰越			
4/30	予算	KPI_削減前CO2排出量の増加理由:発生	200	11.0	201 11.0

注:削減前CO2排出量の増加理由\_発生の実績元帳及び予算元帳は省略している。

書籍対応頁 P 308

4月予実比較PL (非会計数値含む)

科目	予算	実績	差異	原因	対応策
	4月	4月	4月		
削減前CO2排出量 (t)	202 11.0	203 14.0	204 3.0	書籍参照	書籍参照

書籍対応頁 第 4 章 P 303

KPI\_実績仕訳 4月\_削減後CO2排出量11.4tの非会計数値の実績を仕訳計上

日付	借方科目	借方数量	貸方科目	貸方数量
4/30	205 KPI_削減後CO2排出量	11.4	207 KPI_削減後CO2排出量の増加理由:発生	11.4
	借方合計	209 11.4	貸方合計	210 11.4

書籍対応頁 P 305

KPI (非会計) 実績元帳 (4月)

予算会計システム 第11期 実績区分 (4月)

科目 KPI\_削減後CO2排出量 借方 ... EJ

単位 t

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越			
4/30	実績	KPI_削減後CO2排出量の増加理由:発生	211	11.4	212 11.4

書籍対応頁 第 4 章 P 307 書籍対応頁 第 3 章 P 193 参照

KPI (非会計) 予算元帳 (4月) 第3章演習問題3より

予算会計システム 第11期 予算区分(4月)

科目 KPI\_削減後CO2排出量 借方 ... EJ

単位 t

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	予算	前期繰越			
4/30	予算	KPI_削減後CO2排出量の増加理由:発生	213	8.8	214 8.8

注:削減後CO2排出量の増加理由\_発生の実績元帳及び予算元帳は省略している。

第4章 演習問題2(解答)

書籍対応頁 P 308

4月予実比較PL (非会計数値含む)							
科目	予算		実績		差異	原因	対応策
	4月		4月		4月		
削減後CO2排出量 (t)	215	8.8	216	11.4	217	2.6	書籍参照

書籍対応頁 第 4 章 P 304

KPI_実績仕訳		4月_CO2削減量2.6tの非会計数値の実績を仕訳計上					
							単位
							t
日付	借方科目	借方数量	貸方科目		貸方数量		
4/30	218 KPI_CO2削減量	219 2.6	220 KPI_CO2削減量の増加理由：太陽光発電	221	2.6		
	借方合計	222 2.6	貸方合計	223	2.6		

書籍対応頁 P 305

KPI (非会計) 実績元帳 (4月)

予算会計システム 第11期 実績区分 (4月)

科目 KPI\_CO2削減量 借方 ... EI

単位 t

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越			
4/30	実績	KPI_CO2削減量の増加理由：太陽光発電	224 2.6		225 2.6

書籍対応頁 第 4 章 P 306

書籍対応頁 第 3 章 P 192 参照

KPI (非会計) 予算元帳 (4月)

第3章演習問題3より

予算会計システム 第11期 予算区分(4月)

科目 KPI\_CO2削減量 借方 ... EI

単位 t

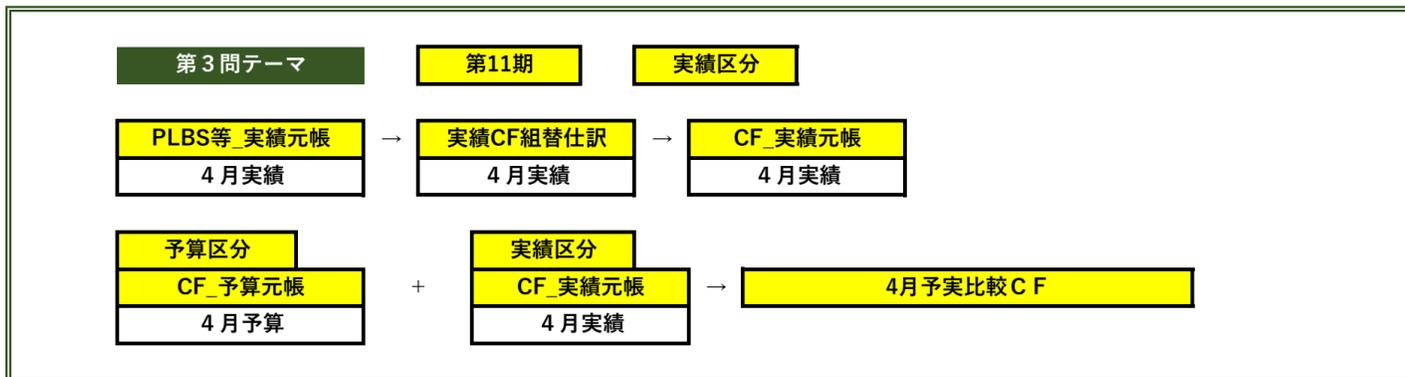
日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	予算	前期繰越			
4/30	予算	KPI_CO2削減量の増加理由：太陽光発電	226 2.2		227 2.2

注：CO2削減量の増加理由\_太陽光発電の実績元帳及び予算元帳は省略している。

書籍対応頁 P 308

4月予実比較PL (非会計数値含む)							
科目	予算		実績		差異	原因	対応策
	4月		4月		4月		
CO2削減量 (t)	228	2.2	229	2.6	230	0.4	書籍参照

第4章 演習問題3(解答)



第2問の4月のBS\_実績元帳の月次増減差額を基礎としてCF科目組替仕訳を設定し、CF\_実績元帳へ自動転記し、CF\_予算元帳とCF\_実績元帳より、4月予実比較CFへ自動転記するプロセスの空欄に記入して下さい。解答は書籍をご確認下さい。

書籍対応頁 第 4 章 P 314 CF科目 CF\_税引前当期純利益

CF組替\_実績仕訳 4月のBS\_繰越利益剰余金増減差額をCF\_税引前当期純利益へ組み替えるCF組替\_実績仕訳を計上する。

CF科目は貸方固定 単位 千円

日付	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額
4/30	1 ±BS_繰越利益剰余金(増減差額)	2 44,800	3 CF_税引前当期純利益	4 44,800
	借方合計	5 44,800	貸方合計	6 44,800

4月のCF組替\_実績仕訳のCF科目をCF\_実績元帳へ転記する。

書籍対応頁 P 314 CF 実績元帳(4月)

予算会計システム 第11期 実績区分(4月)

科目 CF\_税引前当期純利益 貸方 ... CA

CF科目は貸方固定 単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越			
4/30	実績	±BS_繰越利益剰余金(増減差額)		7 44,800	8 44,800

4月のCF\_実績元帳と4月のCF\_予算元帳より、4月予実比較CFを作成する。

書籍対応頁 第 4 章 P 315 書籍対応頁 第 3 章 P 205 参照

CF 予算元帳(4月) 第3章演習問題4より

予算会計システム 第11期 予算区分(4月)

科目 CF\_税引前当期純利益 貸方 ... CA

CF科目は貸方固定 単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	予算	前期繰越			
4/30	予算	±BS_繰越利益剰余金(増減差額)		9 49,500	10 49,500

第4章 演習問題3(解答)

書籍対応頁 P 316・317

4月予実比較CF							
科目	予算		実績		差異	原因	対応策
	4月		4月		4月		
税引前当期純利益 (千円)	11	49,500	12	44,800	13	△ 4,700	
<分析情報>							
販売数量 (個)	14	55	15	56	16	1	5月検収予定分の前倒し検収…①
平均販売単価 (千円)	17	900	18	800	19	△ 100	実勢価格の低下 ・・・② 予算作成時の販売単価を 保守的に設定する
売上高 (千円)	20	49,500	21	44,800	22	△ 4,700	①②参照

4月末着地予想CFへの影響は、着地予想PLの見込修正により、自動修正されるので省略する。

書籍対応頁 第 4 章 P 319 CF科目 CF\_売上債権の増減額

<b>CF組替_実績仕訳</b>	4月のBS_売掛金増減差額をCF_売上債権の増減額へ組み替えるCF組替_実績仕訳を計上する。				
CF科目は貸方固定				単位	千円
日付	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額	
4/30			23 ±BS_売掛金 (増減差額)	24	5,280
			27 CF_売上債権の増減額	28	△ 5,280
	借方合計	25 0	貸方合計	26	0

4月のCF組替\_実績仕訳のCF科目をCF\_実績元帳へ転記する。

書籍対応頁 P 319

CF 実績元帳 (4月)

予算会計システム 第11期 実績区分 (4月)

科目 CF\_売上債権の増減額 貸方 ... CB

CF科目は貸方固定 単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越			
4/30	実績	±BS_売掛金 (増減差額)		29 △ 5,280	30 △ 5,280

4月のCF\_実績元帳と4月のCF\_予算元帳より、4月予実比較CFを作成する。

書籍対応頁 第 4 章 P 320 書籍対応頁 第 3 章 P 210 参照

CF 予算元帳 (4月) 第3章演習問題4より

予算会計システム 第11期 予算区分 (4月)

科目 CF\_売上債権の増減額 貸方 ... CB

CF科目は貸方固定 単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	予算	前期繰越			
4/30	予算	±BS_売掛金 (増減差額)		31 △ 4,950	32 △ 4,950

第4章 演習問題3(解答)

書籍対応頁 P 328

4月予実比較CF

科目	予算		実績		差異	原因	対応策
	4月		4月				
売上債権の増減額 (千円)	33	△ 4,950	34	△ 5,280	35	△ 330	

<分析情報>

売掛金の繰越差異 (千円)	36	103,950	37	99,000	38	△ 4,950	売掛金の繰越差異	着地予想BSの精度向上
(月末残高_売掛金) × △ 1	39	△ 108,900	40	△ 104,280	41	4,620	(月末残高_売掛金) × △ 1	着地予想BSの精度向上
__予実差異								
合計	42	△ 4,950	43	△ 5,280	44	△ 330		

4月末着地予想CFへの影響は、着地予想P Lの見込修正により、自動修正されるので省略する。

書籍対応頁 第 4 章 P 324 CF科目 CF\_未払消費税等の増減額

CF組替\_実績仕訳 4月のBS\_未払消費税等増減差額をCF\_未払消費税等の増減額へ組み替えるCF組替\_実績仕訳を計上する。

CF科目は貸方固定				単位		千円	
日付	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額			
4/30	45 ±BS_未払消費税等 (増減差額)	46 4,480	47 CF_未払消費税等の増減額	48 4,480			
	借方合計	49 4,480	貸方合計	50 4,480			

4月のCF組替\_実績仕訳のCF科目をCF\_実績元帳へ転記する。

書籍対応頁 P 324

CF 実績元帳 (4月)

予算会計システム 第11期 実績区分 (4月)

科目 CF\_未払消費税等の増減額 貸方 ... CC

CF科目は貸方固定 単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	実績	前期繰越			
4/30	実績	±BS_未払消費税等 (増減差額)		51 4,480	52 4,480

4月のCF\_実績元帳と4月のCF\_予算元帳より、4月予実比較CFを作成する。

書籍対応頁 第 4 章 P 325 書籍対応頁 第 3 章 P 214 参照

CF 予算元帳 (4月) 第3章演習問題4より

予算会計システム 第11期 予算区分(4月)

科目 CF\_未払消費税等の増減額 貸方 ... CC

CF科目は貸方固定 単位 千円

日付	行区分	相手科目	借方	貸方	残高
4/1	予算	前期繰越			
4/30	予算	±BS_未払消費税等 (増減差額)		53 4,950	54 4,950

## 第4章 演習問題3(解答)

書籍対応頁 P 326・327

## 4月予実比較CF

科目	予算		実績		差異		原因	対応策
	4月		4月		4月			
未払消費税等の増減額(千円)	55	4,950	56	4,480	57	△470		

## &lt;分析情報&gt;

A:未払消費税等の 繰越差異(千円)	58	49,500	59	48,000	60	△1,500	未払消費税等の 繰越差異	着地予想BSの精度向上
B:(月末残高_未払消費税等) _予実差異	61	54,450	62	52,480	63	△1,970	(月末残高_ 未払消費税等) _予実差異	着地予想BSの精度向上
B-A:差引計	64	4,950	65	4,480	66	△470		

4月末着地予想CFへの影響は、着地予想P Lの見込修正により、自動修正されるので省略する。